

## 地域づくりの目標

- 納内地域に暮らす人たちが、住み慣れた地域で、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを基本に、地域に賑わいや活力を生み出していきます。
- 地域に暮らす人たちが、お互いに支えあい、助けあって、安心して暮らし続けるために、市街地への集住を推進するなど、安心・安全なまちづくりを進めます。
- 地域に暮らす人たちが、誰でも参加できるふれあい事業の継続と新しい事業の取組を行っていきます。



## 地域づくりの基本的考え方と将来に向けた具体的な取組

地域づくりに生かしたい地域の強み	解決しなければならない地域の弱み	地域づくりの基本的考え方	将来に向けた具体的な取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屯田兵入植の歴史を背景に地域の絆が強く、様々な地域活動も活発</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域ぐるみで将来を考える場をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「納内のまちの将来を考える集い」の開催</li> <li>■ 「納内の農業の将来を考える集い」の開催</li> <li>■ 「クラーク高校との連携を考える集い」の開催</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域を一望し故郷を実感できる場所が多くある</li> <li>・ 多様な農産物が生産され季節の変化を楽しめる田園風景をつくっている</li> <li>・ 歴史を感じさせる建物や樹木が残されている</li> <li>・ 農業に関わる風習が今でも大切にされている</li> <li>・ 庭づくりの伝統がまちの景観をつくっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域外に発信するまちの魅力が乏しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 納内を感じる風景や歴史資源を保全整備し内外に発信する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「納内ふるさと写真集」の作成</li> <li>■ 「おさむない四季便り」ホームページの開設</li> <li>■ 「納内魅力発見マップ」の作成とウォーキングツアーの企画実施</li> <li>■ 「納内ふるさと眺望広場」の整備</li> <li>■ 「庭木や花いっぱい風景づくり」運動の推進</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水資源にも恵まれ北海道の稲作を代表する地域となっている</li> <li>・ 計画的につくられた集落形態が現代にも活かしている（間口50間、奥行200間の屯田区画）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業の将来に不安がある</li> <li>・ 農業従事者の高齢化と後継者の未婚率が高いことから継続に不安がある</li> <li>・ 離農地の引き受けには限界があり、耕作放棄地が生じないか不安がある</li> <li>・ 次の世代に農業の技術が伝わらない不安がある</li> <li>・ 法人化や新しい取組が進まない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基幹産業である農業の持続と発展をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 農業生産法人化による規模拡大の取組支援</li> <li>■ 農業後継者の花嫁募集活動の支援</li> <li>■ 地域としての農家の働き手、担い手を受け入れる体制の整備</li> <li>■ 農業女子の体験受け入れ体制の整備</li> <li>■ 農業ができる人材を育成する仕組みの整備</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果樹、花卉、そば、野菜など多様な農産物が生産されている</li> <li>・ 農産物の加工技術（味噌、漬物など）がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業従事者の高齢化と収穫期の人手不足により継続に不安がある</li> <li>・ 若い世代の移住動機となる通年雇用の場がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 収穫期の人手確保の仕組みをつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 都市部と連携した「交流型収穫ボランティアツアー」の企画実施</li> <li>■ 納内の農作業経験者等の「収穫ボランティア」登録制度の企画実施</li> <li>■ 農業女子の体験受け入れ体制の整備</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 納内の農産物の価値を高め雇用の場をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 通年で収穫を回せる園芸作物の開拓の支援</li> <li>■ 納内の農産物を活かした特産品開発ができる、加工設備や施設の整備</li> <li>■ 地域おこし協力隊の制度を活用し、特産品開発等による新規雇用の開発</li> <li>■ 地元農産物や花卉、開発特産品などの販売</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画的につくられた集落形態が現代にも活かしている（市街地の位置）</li> <li>・ 数は減ったが市街地に日用品の店舗や、診療所があり一定の生活利便が確保されている</li> <li>・ 高齢者福祉施設が多くあり、地域との連携に積極的</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き店舗が増え、高齢者などの買い物に不便になるのが心配</li> <li>・ 今後、農村部の独り住いの高齢者が、除雪や買い物などが難しくなることが心配</li> <li>・ 地域で最後まで暮らせるための、医療や介護を受けられる環境が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢になっても、安心して暮らし続けられる環境を整える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高齢者福祉施設、診療所と連携した高齢者の健康維持や見守り活動の実施</li> <li>■ 空き家を活用した「冬期集住体験」の実施継続</li> <li>■ 研究機関と連携した「まちなか居住住宅」の建設推進</li> <li>■ 診療所の施設更新と設備の充実</li> <li>■ 移動販売事業者との連携などによる既存店舗の充実</li> <li>■ 周辺地域と連携し、通院や買い物を目的とした「巡回バス」の運行検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屯田兵入植の歴史を背景に地域の絆が強く、様々な地域活動も活発</li> <li>・ クラーク高校が地域との連携に積極的</li> <li>・ 高齢者福祉施設や福祉作業所が多くあり、地域との連携に積極的</li> <li>・ いろいろな技術や知識を持った元気な高齢者が多くいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちに活気がなくなっている</li> <li>・ 少子化が進み、子育て環境、教育環境が悪化するの心配</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多世代が交流し支え合う場や機会をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「サロンなごみ」を活用した、多世代交流事業の企画実施</li> <li>■ クラーク高校との地域交流事業の企画実施</li> <li>■ 「コミセン」を活用した、子どもの放課後の居場所づくり活動の企画実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな技術や知識を持った元気な高齢者が多くいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、農村部の独り住いの高齢者が、除雪や買い物などが難しくなることが心配</li> <li>・ 共稼ぎ世帯などの子育ての手助けが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「生涯現役」様々な活躍の場をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の様々なお困りごとに対応する「有償ボランティア」登録制度の企画実施</li> <li>■ 特産品開発やイベントに協力する「食の達人」登録制度の企画実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道、バスなどの交通網が維持されている</li> <li>・ 納内を移住地として選ぶ人がいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口減少が進み、女性の数も減っている</li> <li>・ 人口減少により空き家が増え、まちの環境が悪化するの心配</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 納内の魅力を発信し地域の担い手を外から引き入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「空き家情報バンク」へ掲載する空き家情報を収集する体制の整備</li> <li>■ 移住希望者に地域情報の提供などの支援を行う「納内移住支援員」制度の整備</li> <li>■ 空き家を活用した「お試し移住体験」と「納内農業・自然体験」の企画実施</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 持続的な取組が行える体制をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 様々な地域活動を継続できる資金を生み出す「地域づくり株式会社」の設立検討</li> </ul>